

平成24年第1回定例会

可決

阿久比町税条例の一部改正

反対討論

杉野 明議員

個人町民税均等割への加算は、非課税の人にも課税され不公平税制となる。税制の基
本は応能負担である。また、退職所得の分離課税における課税所得10%税額控除の廃止
は、退職者に対する増税である。年金が減額される中、これから年金生活に入る人への
増税はすべきでない。すでに優遇されている証券・株などの税制から見直すべき。

可決

阿久比町精神障害者医療費支給条例の一部改正

賛成討論

辻 忠男議員

精神障害者家族会（さざなみ会）の全議員への働きかけにより12月議会で請願が全議
員賛成により採択された。
3級の対応については、今後の課題と思うが、10月から1級・2級の全疾患が
無料化することを歓迎するとともに、対象者に対し、周知・徹底していただくよう要望
する。

可決

阿久比町介護保険条例の一部改正

反対討論

辻 忠男議員

今年度から介護保険料が月額4400円（750円増）となり、過去最高額である。
財政調整基金からの繰入額を増やすなどを行い、値上げはやめるべきである。高齢者に
とって年金が下がり、介護保険料の負担増は、我慢の限度を超えている。高齢になつて
も、本当に生きてよかったと思える町にしてゆくために。

可決

阿久比町立老人憩の家の管理に係る指定管理者の指定

賛成討論

辻 忠男議員

あくまでも町立の施設であり、管理者を指定しても、最終責任は町にあると考
える。指定管理者任せになりがちだが、役場の監査が必要である。決算書での確
認だけでなく、現場確認をすることを要望する。

可決

平成24年度阿久比町一般会計予算

反対討論

澤田 道孝議員

道路新設・物件移転補償費は、例年に比べると50%以上の大幅減となつてい
る。しかし、植大地区の予算と施工箇所は他地区に比べ格段に多い。9ヶ所の内
4ヶ所が植大地区である。植大の一部工事はさほど必要性のない工事まで含まれ
ている。これは町長が植大地区を厚遇していることの表れであり、我田引水の予
算は認められない。

賛成討論

久保 秋男議員

災害に強いまちづくりを念頭に、本町の発展と住民福祉の向上に配慮し、前年
度より50%増となつている。町民負担の軽減を図るための、新規事業を多く取
り入れながら、第5次総合計画の第2年次として、まちの将来像である、「みど
りと共生する快適生活空間・あぐい」を目指すまちづくりを推進していくため、
積極的に予算編成がされている。町税をはじめ国県支出金及び地方債は適正なも
のであり、今後も健全な財政運営をされることを期待する。

反対討論

辻 忠男議員

膨大な財政調整基金を残しながら、町民の願いや防災に対しての実現があまり
にも少ない。

- ①循環バスを大字すべてに運行することや、運行時間の拡大等の町民の要望を受
けとめた予算計上が必要。
- ②給食センターに放射能測定器を設置し、安全で安心した食料提供をすべき。
- ③5連動とも言われている地震対策として、これから建設する新保育所の窓ガラ
スに飛散防止対策が必要。

賛成討論

沢田 栄治議員

防災・減災対策など数々の施策を盛り込み、災害対策費を前年の2倍以上とし
たことは大変評価をする。町民の負担軽減を図るため、子ども医療費の中学生ま
での無料化、高齢者のタクシー料金助成事業の継続、国保税の負担緩和、新保育
所の建設や新庁舎建設に向けた事業、循環バスの試行運行事業及び小中学校の空
調整備など、バランスのとれた予算編成である。

反対討論

杉野 明議員

町民税の年少控除・特定年少控除を廃止し、7100万円の増税を見込む一
方、多額の財政調整基金を残している。耐震住宅改修補助の拡大や、住宅リフォ
ーム助成制度など、今住民が必要としていることに予算を充てるべき。
また、負担金640万を要する県職員派遣の必要性は疑問。町職員の資質向上
を図るべき。